

広 告 原 稿

<p>①広告主名 政策研究大学院大学教授 島崎 謙治</p>	<p>②著作物等のジャンル 映画・音楽（本件映画中に使用されるもの）・言語（脚本）の著作物</p>
<p>③著作物等の概要 岩手県綾里村（現、大船渡市）における、戦前からの国民健康保険の展開の歴史をみるとともに、綾里村の人々が国民健康保険の発展のために重ねてきた努力を紹介する映像、映像中に使用されている音楽及び映像の脚本（存在すれば）。</p>	
<p>④連絡先 社名 政策研究大学院大学 担当者名 島崎 謙治、星田 淳也 住所 東京都港区六本木 7-22-1 TEL 03-6439-6192 FAX 03-6439-6010 E-mail j-hoshida@grips.ac.jp</p>	
<p>⑤詳細 岩手県綾里村における、戦前から 1954 年頃までの国民健康保険の展開の歴史をみるとともに、綾里村の人々が国民健康保険の発展のために重ねてきた努力を紹介する映像である。映像時間は 20 分 30 秒。 本件映像作品のナレーション等を英語に翻訳し、字幕を付したうえで DVD に複製し、無料で譲渡するにあたり、著作権者、著作権承継者を捜しています。</p> <p>本件映像の製作者等は、以下のとおり。（映像中に明記されている。） 製作 教材映画製作協同組合 後援 全国国民健康保険団体中央会 協力 岩手県国民健康保険団体連合会、岩手県気仙郡綾里村</p> <p>上記のうち教材映画製作協同組合は現存していない。後援及び協力の国民健康保険関係の両団体と、綾里村を市町村合併により引き継いだ大船渡市は、著作権者ではないとのことである。映像・映像中に使用される音楽・映像の脚本（脚本が存在するか否かも不明）のいずれについても、関係団体等への照会・調査を行ってもなお、その著作権者（著作権承継者）が判明していない。</p> <p>本件映像の名称・利用目的は不明（ビデオテープの中に本件映像が発見されたが、テレビ放送の録画なのかそうでないのか等も不明。）1954 年ないし 1955 年に製作されたと思われる（映像中、「今日、その普及率 97% という目覚ましい発展を……」というナレーションの場面に「昭和 29 年」という字幕が表示されるため）。</p> <p>本件映像のナレーションの冒頭部分を以下に抜粋する。 「 東北。その東北地方の中でも人より馬を大切にするとさえ言われてきた岩手。 2、30 年前には、ひえが常食であった地方。山が多く、耕地はその 1 割にも足りない。人は貧しく、交通も不便な岩手。そのような土地には、開業医も来つかない。かつて岩手の大半は、医者がない村であった。戸板に乗せられ、山落ちして、町の医者に担ぎ込まれるのは、よほどの重病人に限られた。人々は売薬に頼るか、祈禱まじないにすがらざるほかはなかった。そして手遅れになった病人は死んだ。一家は働き手を失い借金を増やした。かつてこの土地の詩人啄木はうたった。我が病のその因るところ深くかつ遠きを思う目を閉ぢて思う そのような土地であった。しかし、岩手の農民たちは組合を作り、組合の力で自分たちの医療機関を作ってこのみじめな状態から抜け出そうと動き出した。最初に作られたのがこの矢作診療所。その後、いくつかの組合が 1 つになって作ったのがこの総合病院（昭和 8 年盛岡病院）。しかし、広い県下の人々がこれで救われるわけではない。そして昭和 6 年以来、岩手の農民たちは国民健康保険法が作られる時までには国からも県からも 1 銭ももらわずに自分たちの手で昭和 13 年には 10 の病院と 7 つの診療所を作り上げていたのである。この組合病院の歴史を引き継いだのが現在の国民健康保険だ。貧乏だからこそこの岩手に保健活動が生まれ、常に病気に困っていたからこそ、町に村に病院が作られ、今日、その普及率 97% という目覚ましい発展を見たのである。中でも最も早く村で診療所を建てたのは綾里村であった。（直営診療所）この村の保健活動がその後どんな発展の道をたどったかを見てみよう。」</p>	

